

資料1

外国人材およびグローバルビジネス に関する調査結果報告

資料1

2024年3月26日



一般社団法人
情報サービス産業協会

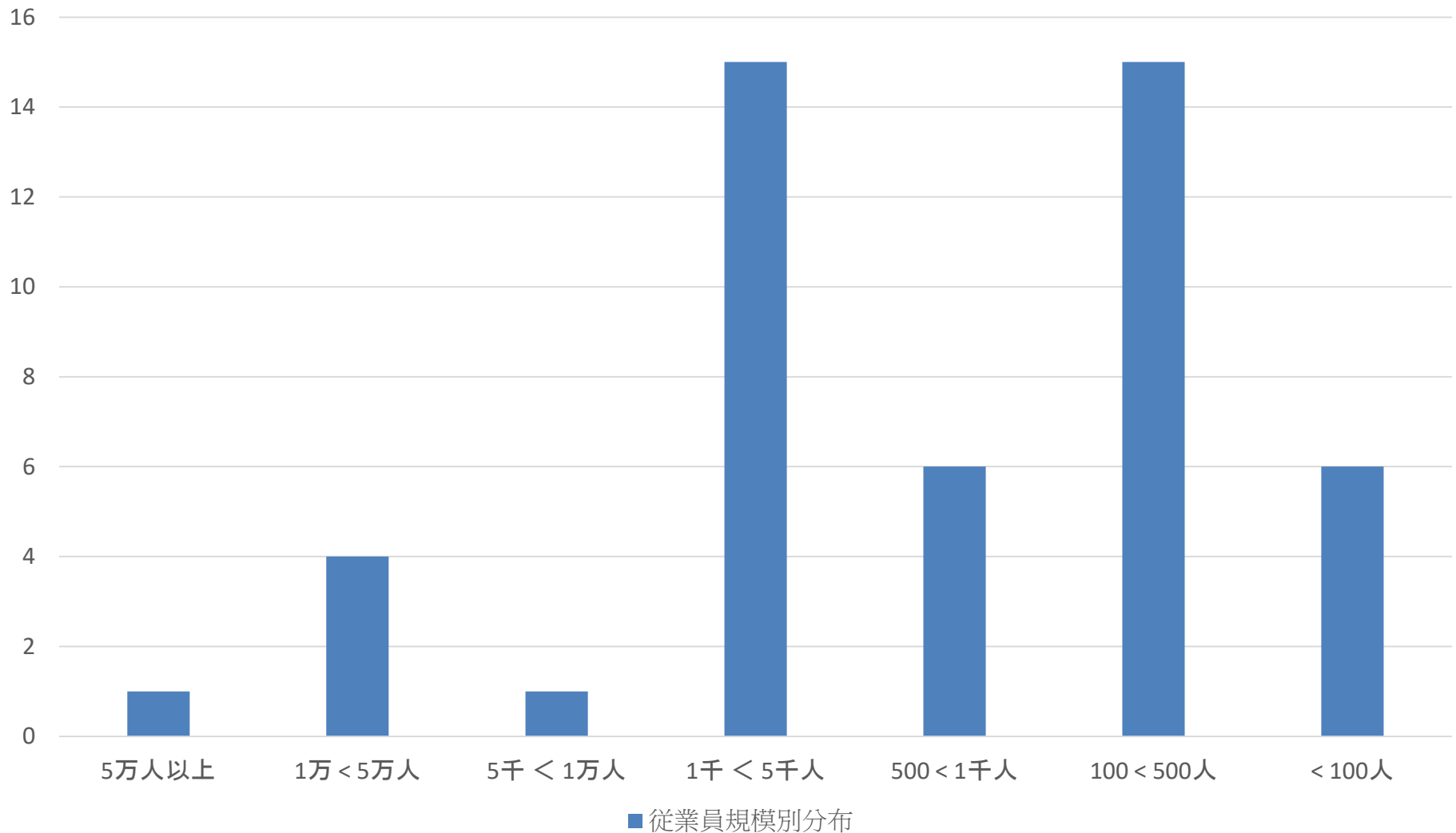


Japan Information Technology Services Industry Association

- 全回答数：48
- 調査期間：2023年10月16日～11月30日
- 従業員数の中央値から見る回答企業イメージ：
従業員数=606人

回答企業プロフィール（従業員規模別分布）

従業員規模別分布



調査結果の概要1/2

■ 外国人材について（回答数48）

– 外国人社員の割合

- 48社の正社員合計は30万人、うち16万人が外国人
- 1万人以上の規模4社平均で、正社員の18.3%が外国人であるのに対し、1万人未満では11.8%にとどまる

– 外国人材の分布と処遇

- 外国人材の分布は「中国中心」が47.8%、「東南アジア中心」が 26.1%
- 1万人規模以上の多くが外国人材の最高職位は「役員クラス」、処遇は「ローカル毎の基準」であるのに対し、1万人未満では役員クラスは14%で、処遇は「日本人同等待遇」となっている。1万人規模以上ではローカル企業の買収や出資等の進出が進むのに対し、1万人未満は国内での外国人材活用中心だと想定される

– 今後の活用等

- 外国人材の活用が拡大傾向との回答は53%、現状維持が42%
- 8割近い企業が「優秀な人材の確保」と回答
- 課題としてあげられるのはコミュニケーションと転職

調査結果の概要2/2

■ グローバルビジネスについて（回答数42、前回27）

- 海外売上げ比率
 - ・ 前は「5%未満」「0」あわせて85%(27社)だったが、今回は71%に減少し、5%~30%の領域が22%(42社) 増えている。
- ローカル展開
 - ・ 前回は比較して「英国以外の欧州」「中国」「シンガポール」「インド」が増加している
- オフショア等調達
 - ・ 引き続き少しづつ減少傾向にある（調達コストの上昇が原因か）
 - ・ 中国、東南アジア（ベトナム中心）、インドの順はかわらない
 - ・ 中国、ベトナムとは日本語を共通言語として開発し、インド等とは英語を介して開発しているケースが多い
- グローバル展開の位置付け
 - ・ 前は「グローバル市場の重視」「グローバル人材の重視」が多かったが、今回は特に「経営化計画には記載していない」が多く、次いで「グローバル人材の重視」が多かった。ビジネスの課題としては「コミュニケーション」「現地パートナーシップの拡大」「顧客ベース・売上げの拡大」が挙げられていた

■ 経済安保について（回答数38）

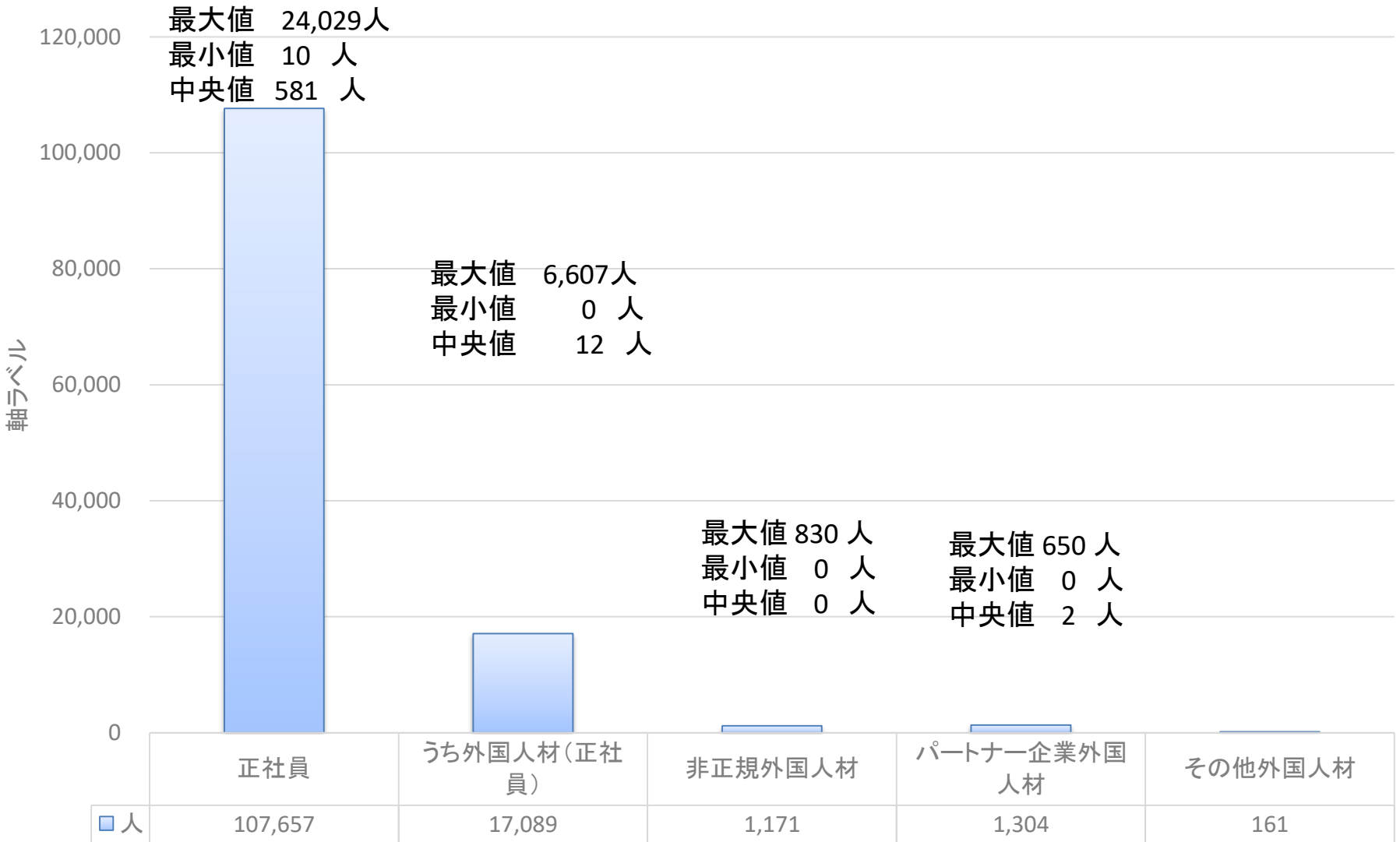
- 17社（45%）が「特別な対応は考えていない」、11社（28.9%）が、影響が出ないよう管理を徹底しつつ現在の海外発注を継続する方針だった。

Part 1 : 外国人材について

設問1 貴社（海外子会社を含むグループ全体）における外国人材の状況（就業数等）について、わかる範囲でお答えください。（人数を数値で入力ください）

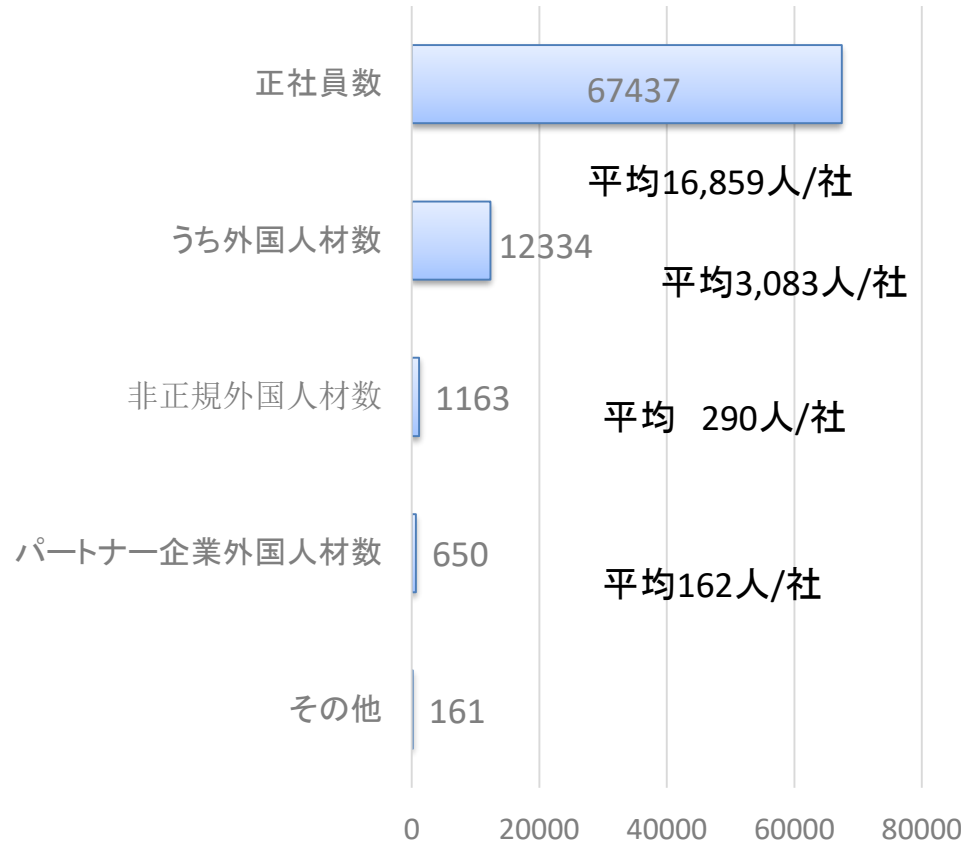
■ 回答数: 47 スキップ数: 1

人

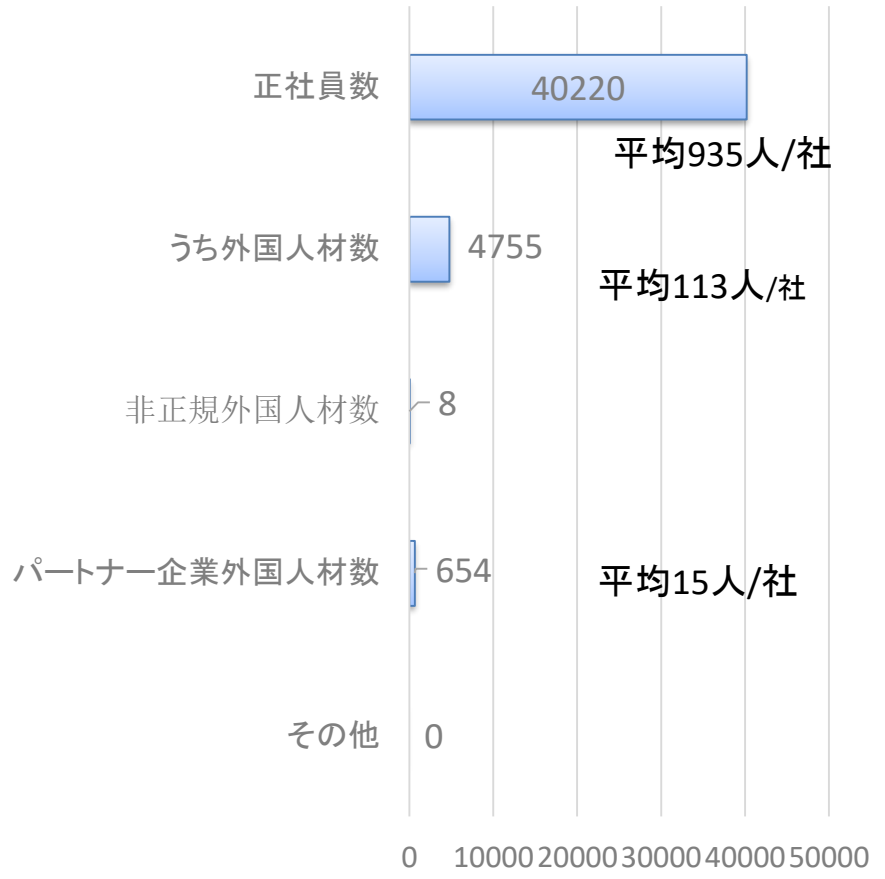


設問1 A 回答会社規模別の外国人材の状況

1万人以上の規模(最大手除く)の集計結果

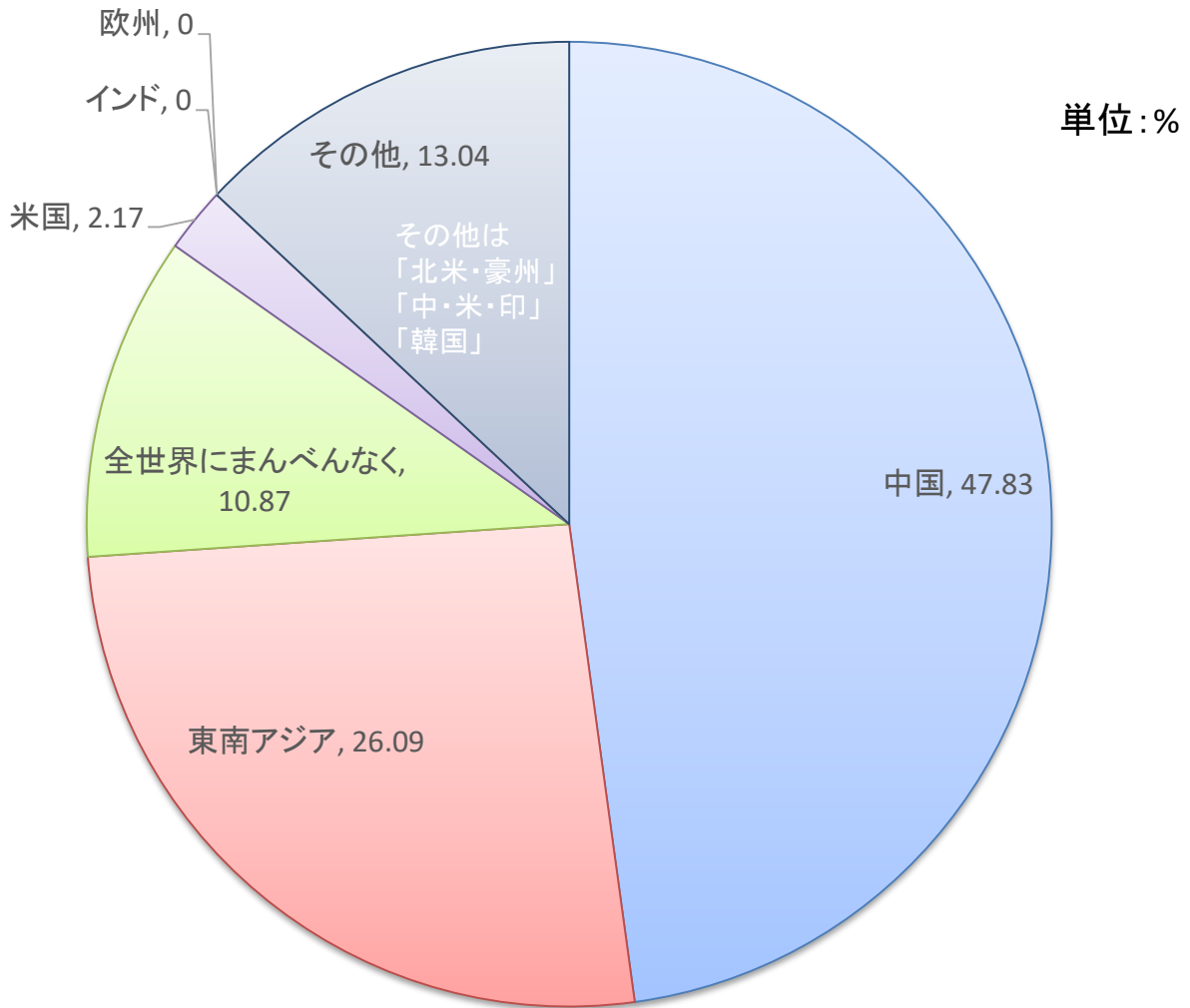


1万人未満の規模の集計結果



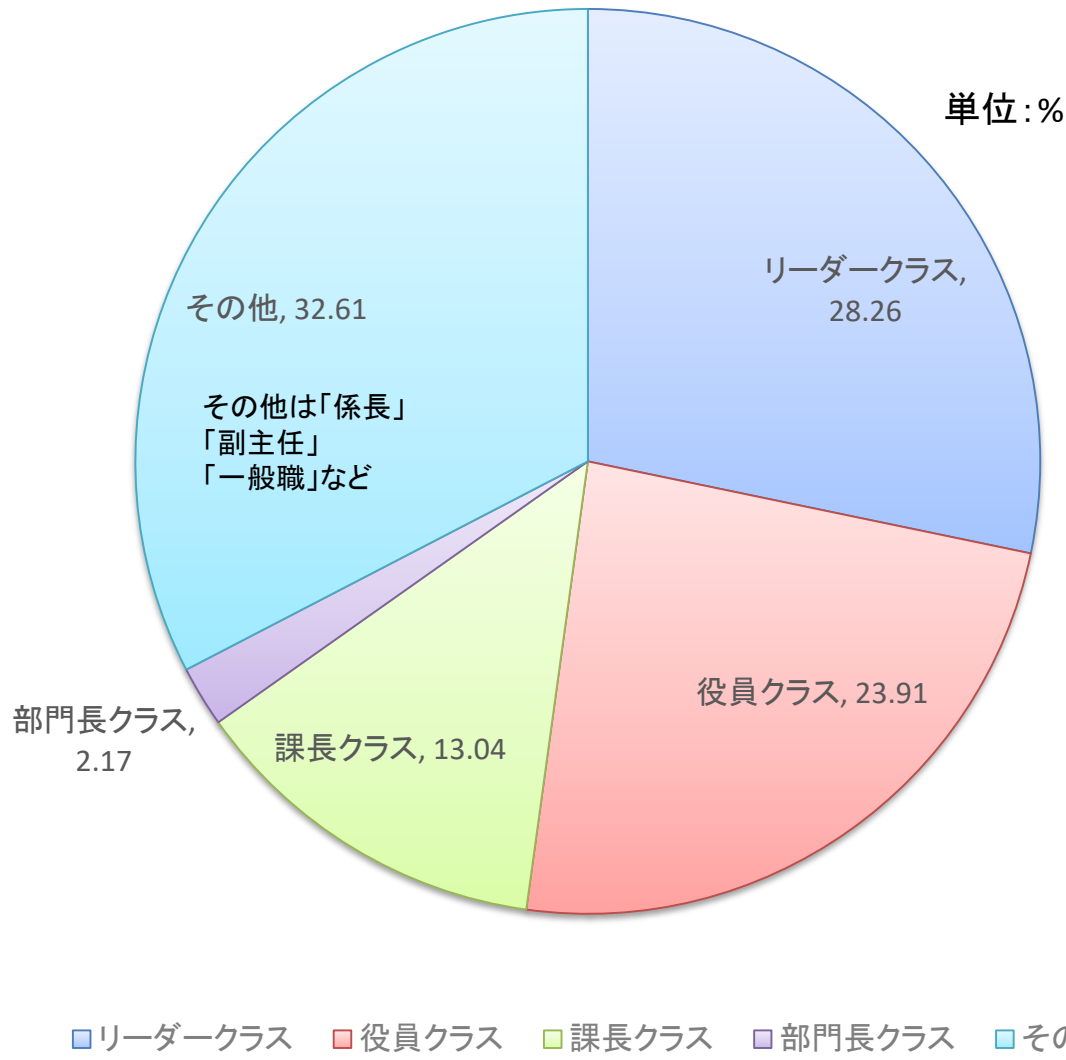
設問2 貴社の外国人材はどの地域を中心に分布していますか。(1つだけ選択)

■ 回答数: 47 スキップ数: 1



設問3 外国人材の中で最も高い職位はどのクラスですか。(1つだけ選択)

■ 回答数: 46 スキップ数: 1

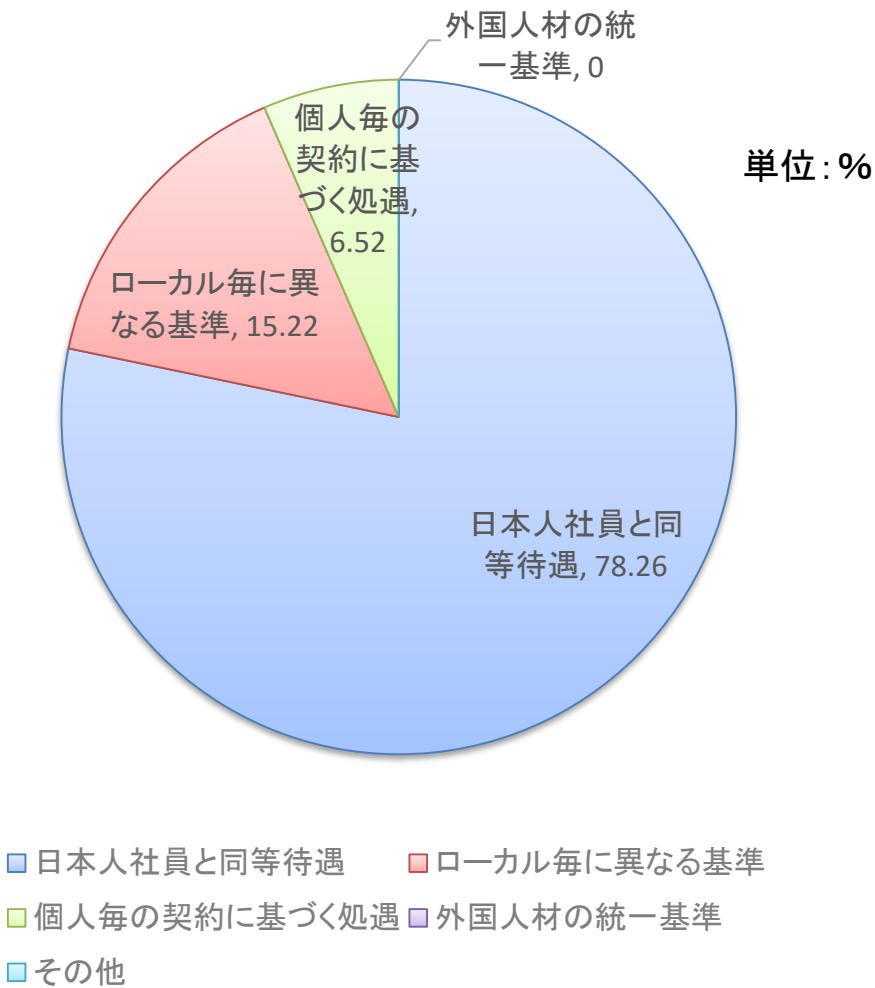


- 1万人以上規模の回答者のうち8割が「役員クラス」と回答
- 1万人未満の規模で役員クラスと回答したのは14%

これは大手企業では、現地既存企業をそのまま買収・出資の形で子会社化し、現地展開していることも一因だと思われる

設問4 外国人材の処遇はどのような形ですか。(1つだけ選択)

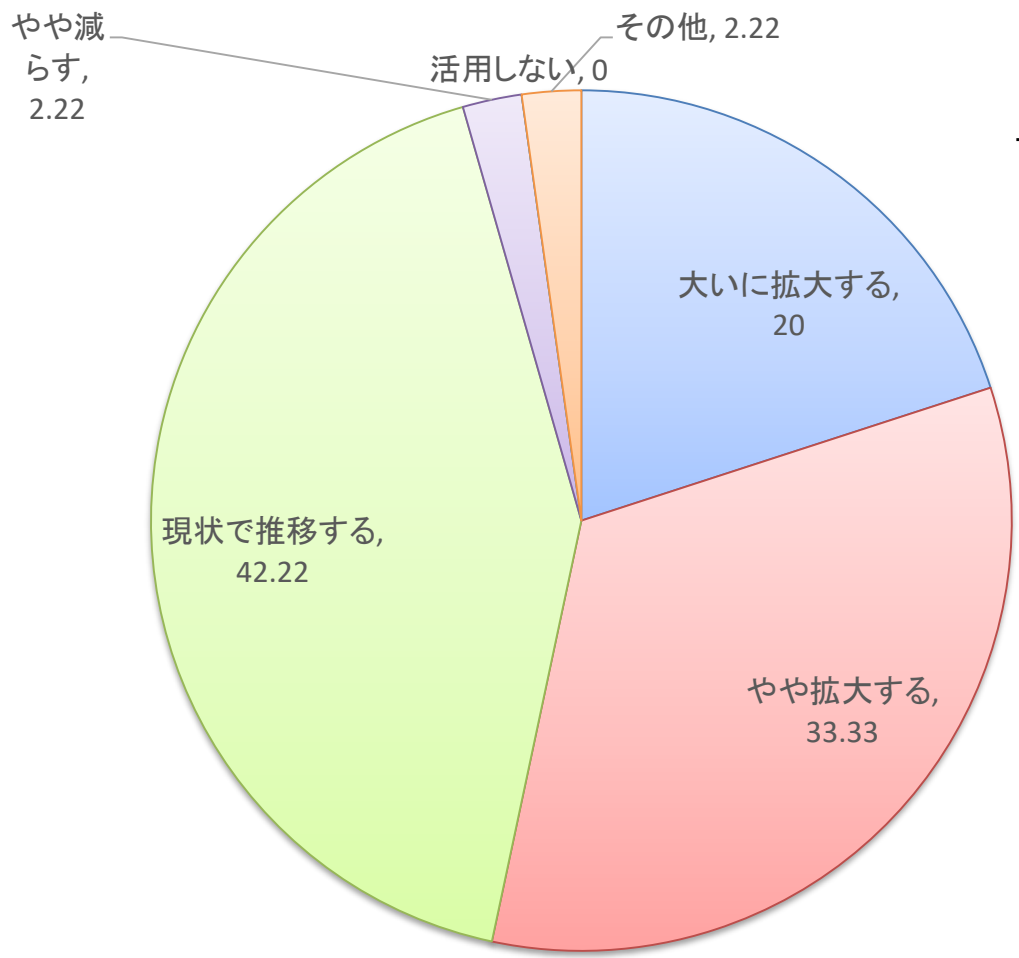
■ 回答数: 47 スキップ数: 1



- 1万人以上規模の回答者のうち8割が「ローカル毎に異なる基準」を適用と回答
- それ以外の回答者では「ローカル毎異なる基準」は7%に過ぎず、「日本人社員と同等待遇」が8割以上となる
- これは、現地でローカル人材を雇用するのは大手企業が多く、それ以外の企業は日本国内での外国人材雇用が多いことに起因すると想定される

設問5 今後の外国人材の活用についてどのようなお考えですか。 (1つだけ選択)

■ 回答数: 46 スキップ数: 2



単位: %

「大いに拡大」「やや拡大」をあわせて53%が拡大志向

「現状で推移する」は42%

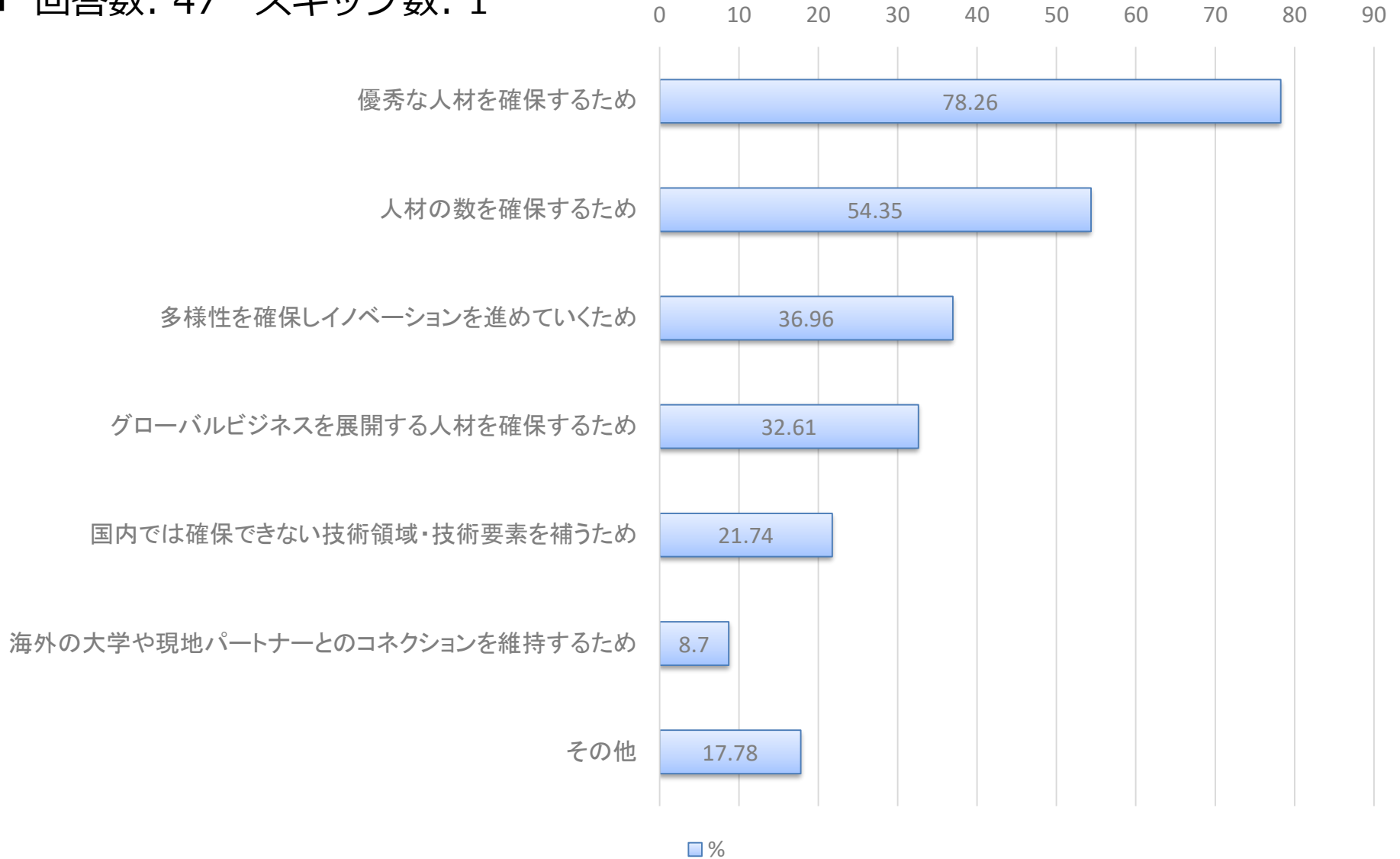
その他では「今後活用の必要性は高まる」と回答

■ 大いに拡大する ■ やや拡大する ■ 現状で推移する

■ やや減らす ■ 活用しない ■ その他

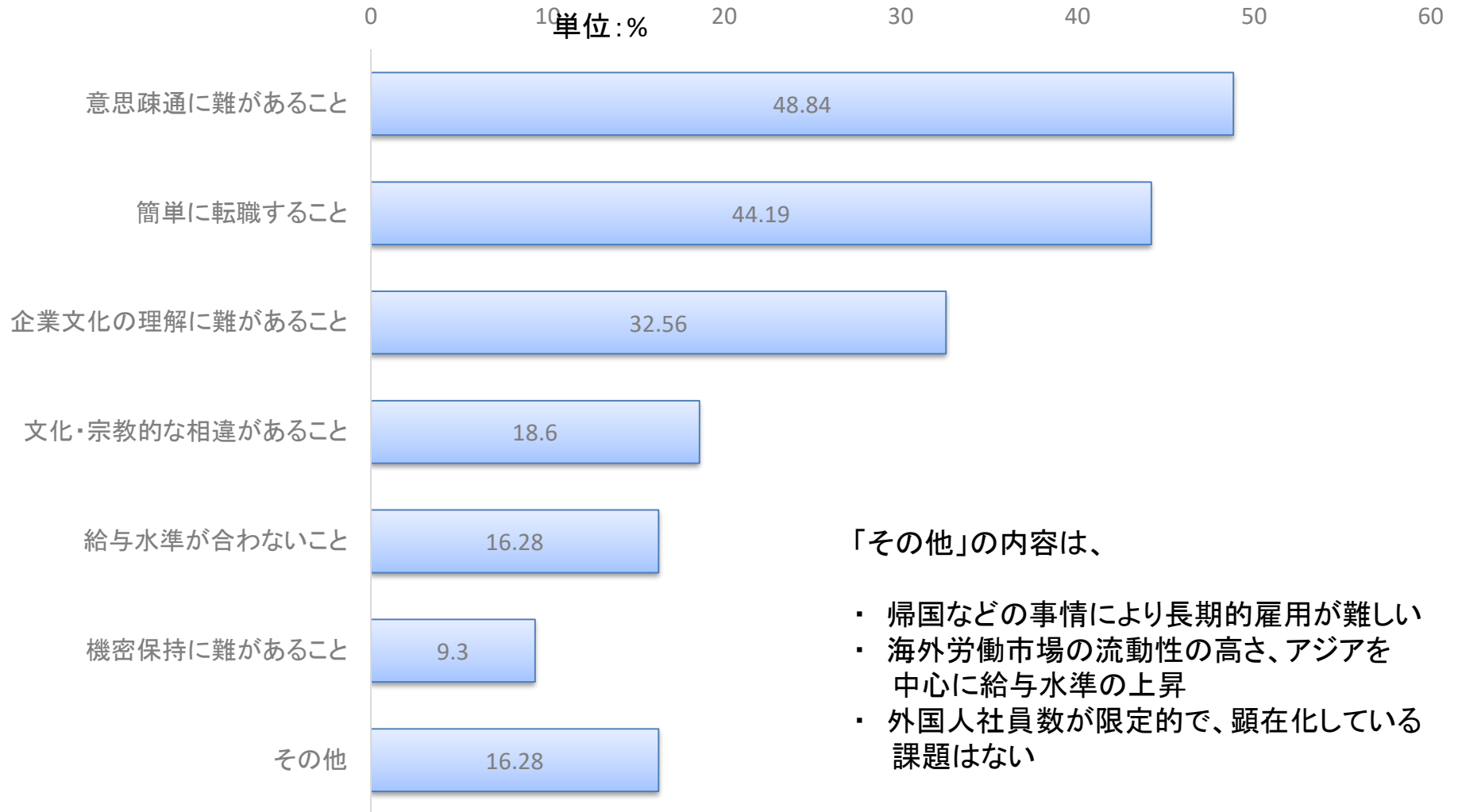
設問6 貴社が海外人材を活用する主な目的は何ですか。 (複数回答)

■ 回答数: 47 スキップ数: 1



設問7 外国人材の確保や処遇にあたっての課題は何ですか。(複数回答)

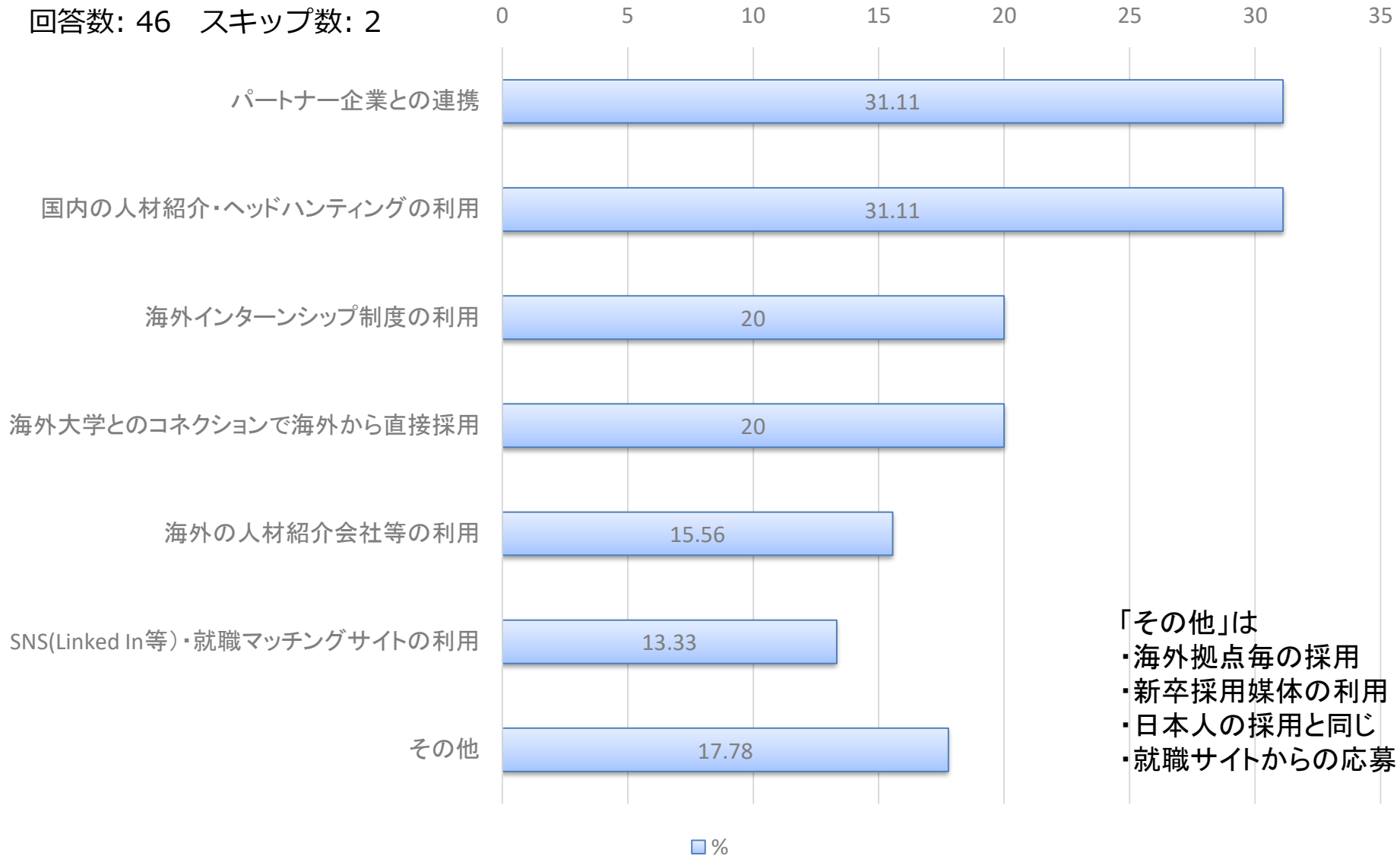
■ 回答数: 44 スキップ数: 4



など

設問8 貴社が外国人材を確保するのに最も有効な方法は何ですか。 (複数回答)

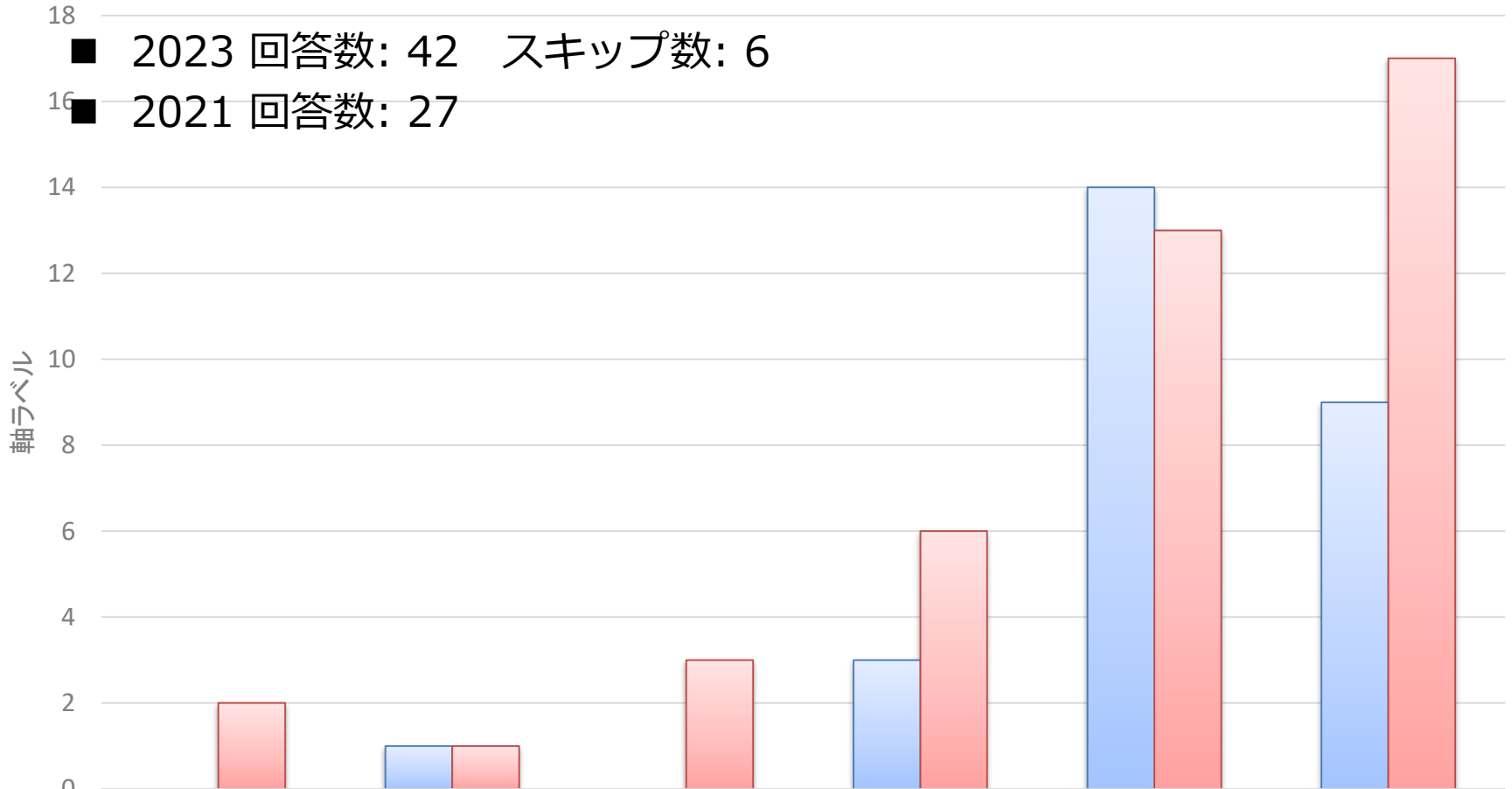
■ 回答数: 46 スキップ数: 2



パート2 グローバル ビジネスについて

設問10 現在、グローバルビジネスの売上高は、全売上高（連結ベース）のどの程度ですか。（1つだけ選択）

海外売上比率－回答者数

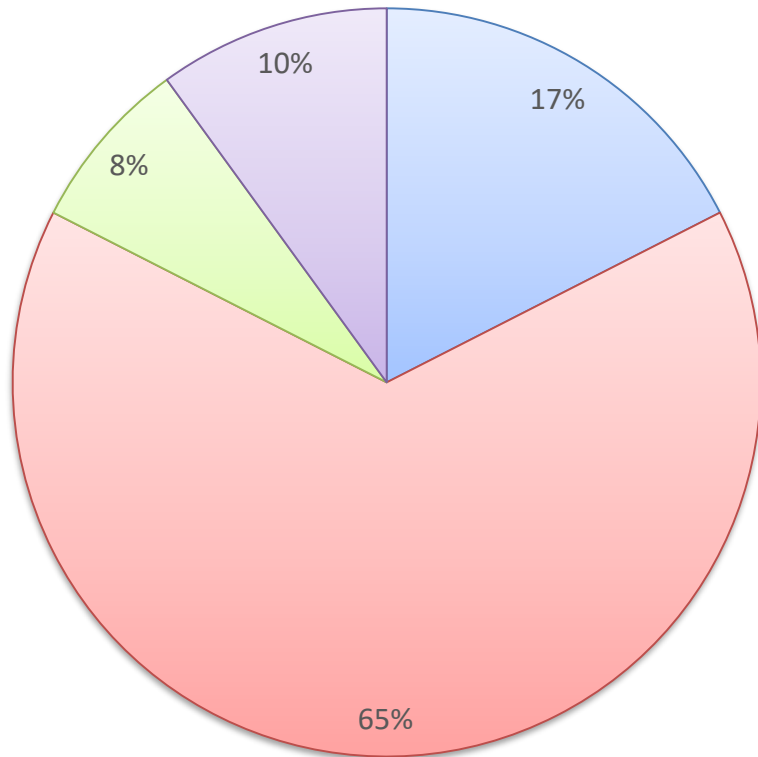


	50%以上	30%<50%	10%<30%	5%<10%	<5%	ゼロ
■ 2021比率	0	1	0	3	14	9
■ 2023比率	2	1	3	6	13	17

設問11 現在、貴社のグローバルビジネスのうち、日本向け調達（オフショア開発等）はどのような傾向にありますか。

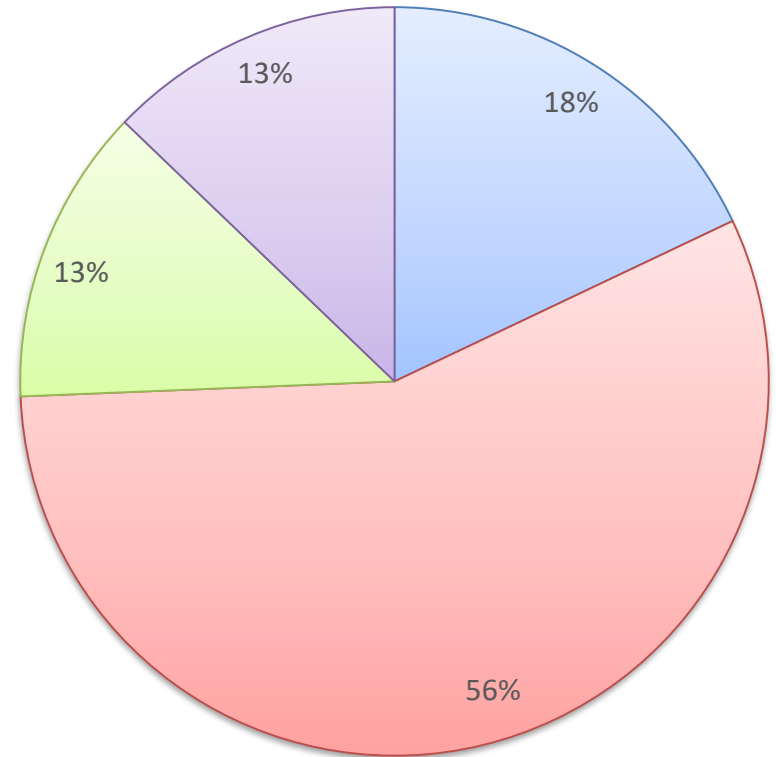
回答数41

(1)現状（最近の1年）



回答数39

(2)今後（これからの1~2年）



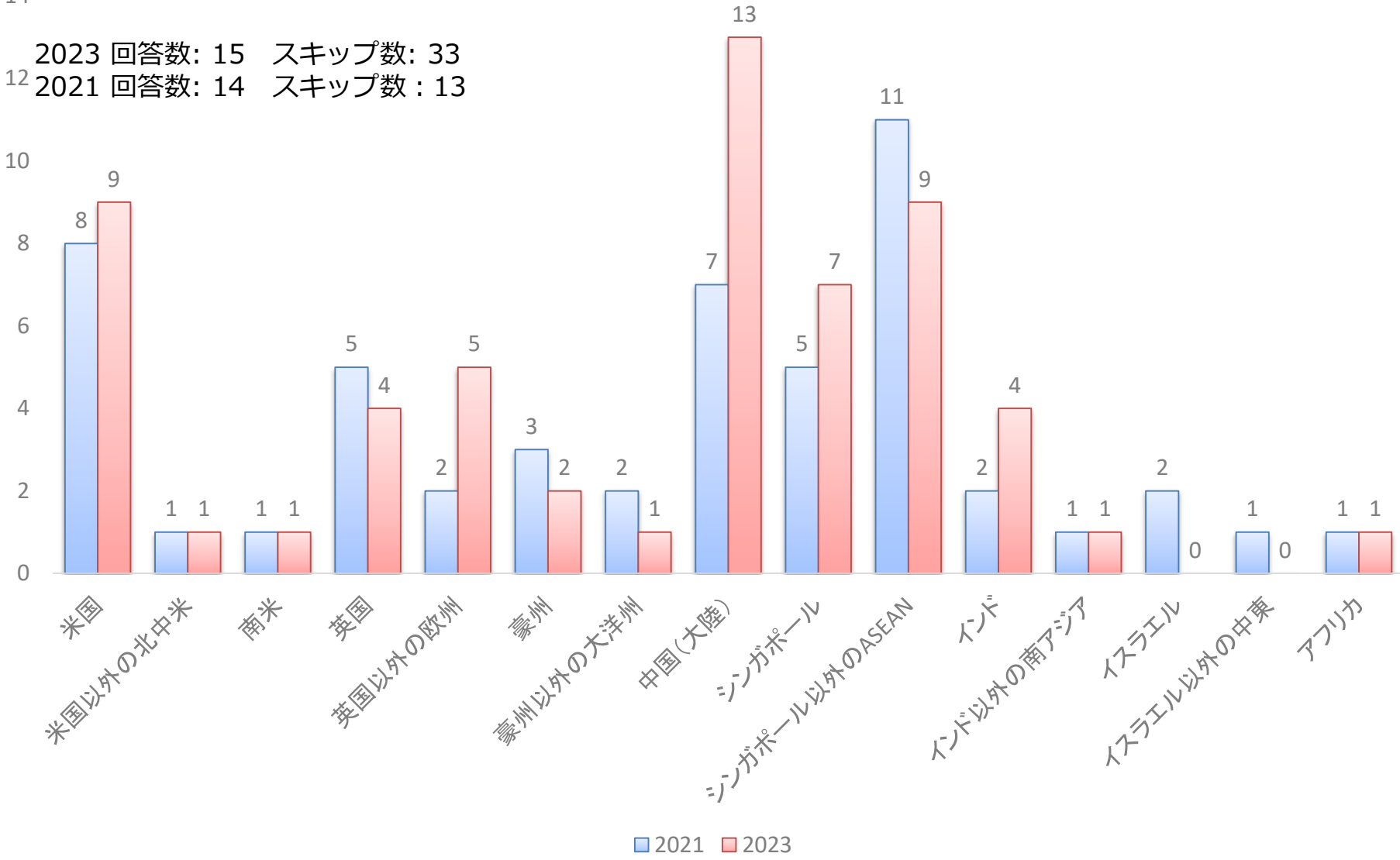
■ 増加傾向 ■ 大きな変化はない ■ 減少傾向 ■ わからない

■ 増加傾向 ■ 大きな変化はない ■ 減少傾向 ■ わからない

設問12 現在、貴社のグローバルビジネスのうち、「ITサービス（SI/システム開発/クラウドサービス）/ソフトウェア販売」について、現地で営業活動をしている地域にチェックをつけてください

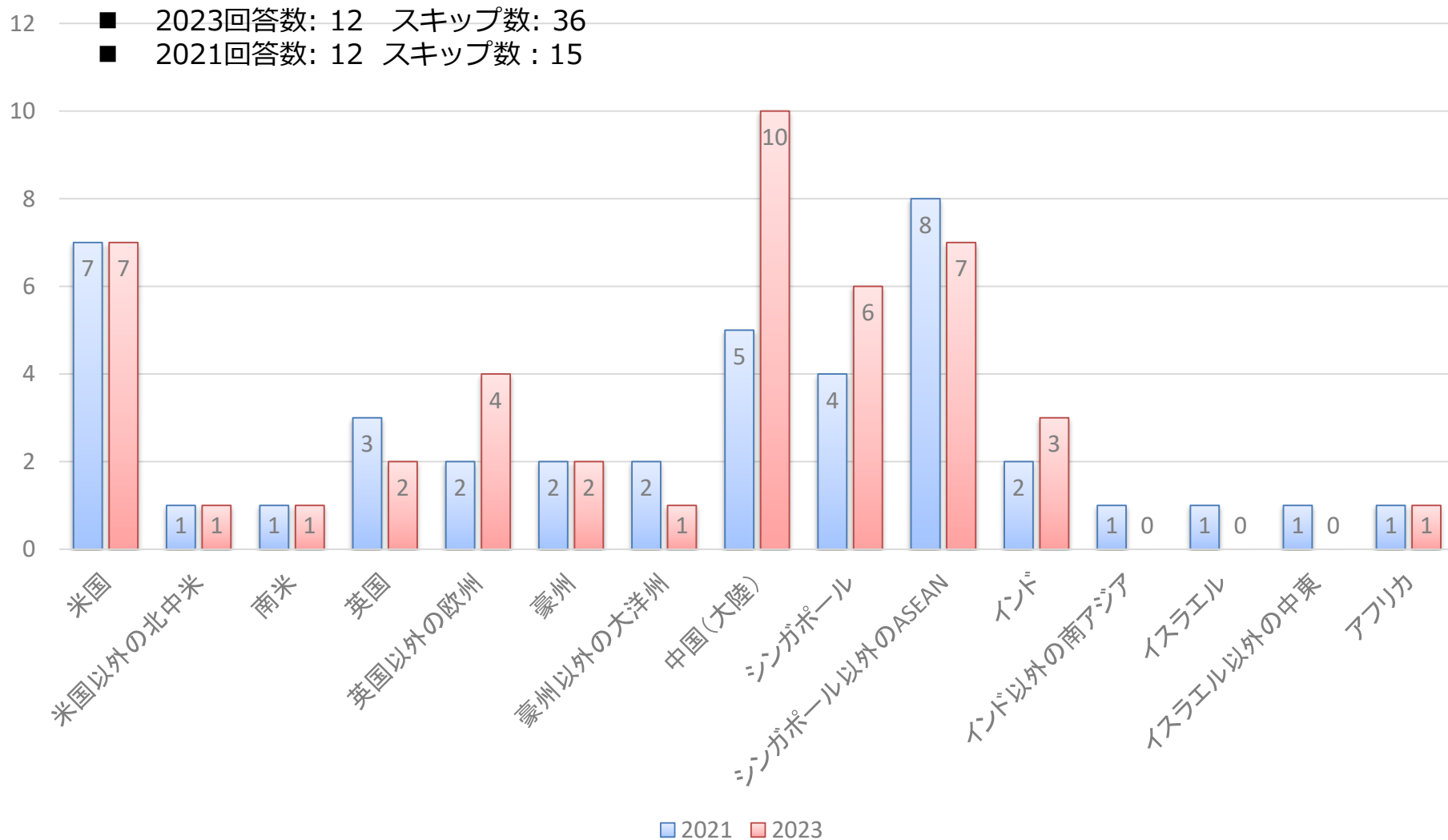
14

■ 2023 回答数: 15 スキップ数: 33
 ■ 2021 回答数: 14 スキップ数: 13



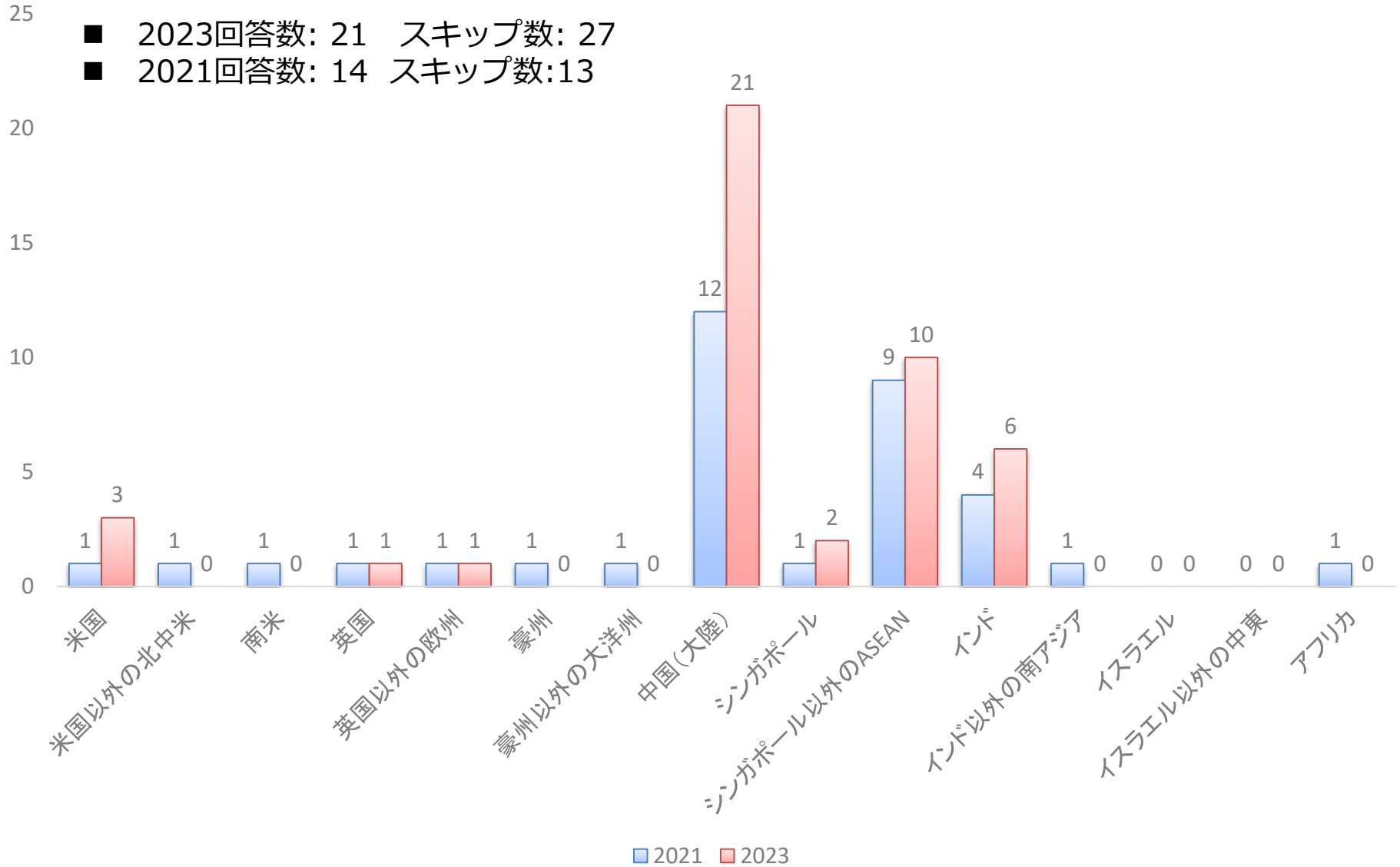
設問13 現在、貴社のグローバルビジネスのうち、「ITサービス（SI／システム開発／クラウドサービス）／ソフトウェア販売」をするに際し、現地販売するための現地法人（一部出資を含む）を保有している地域にチェックをつけてください。

販売のために出資している地域（複数回答）



設問14 現在、貴社のグローバルビジネスのうち、「オフショア開発」「運用／BPO／コールセンター」について、日本向け調達実績のある地域にチェックをつけてください

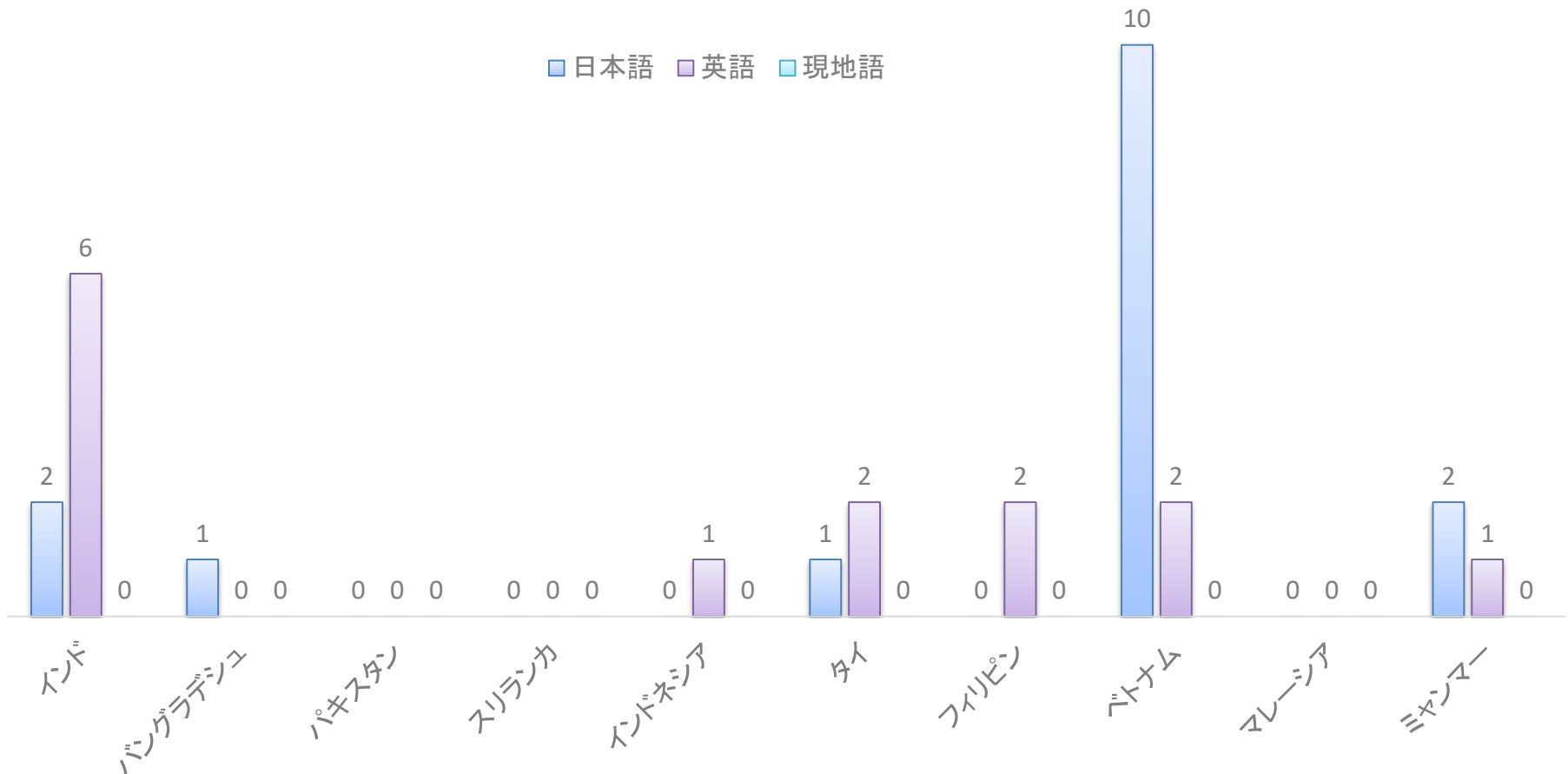
■ 2023回答数: 21 スキップ数: 27
 ■ 2021回答数: 14 スキップ数: 13



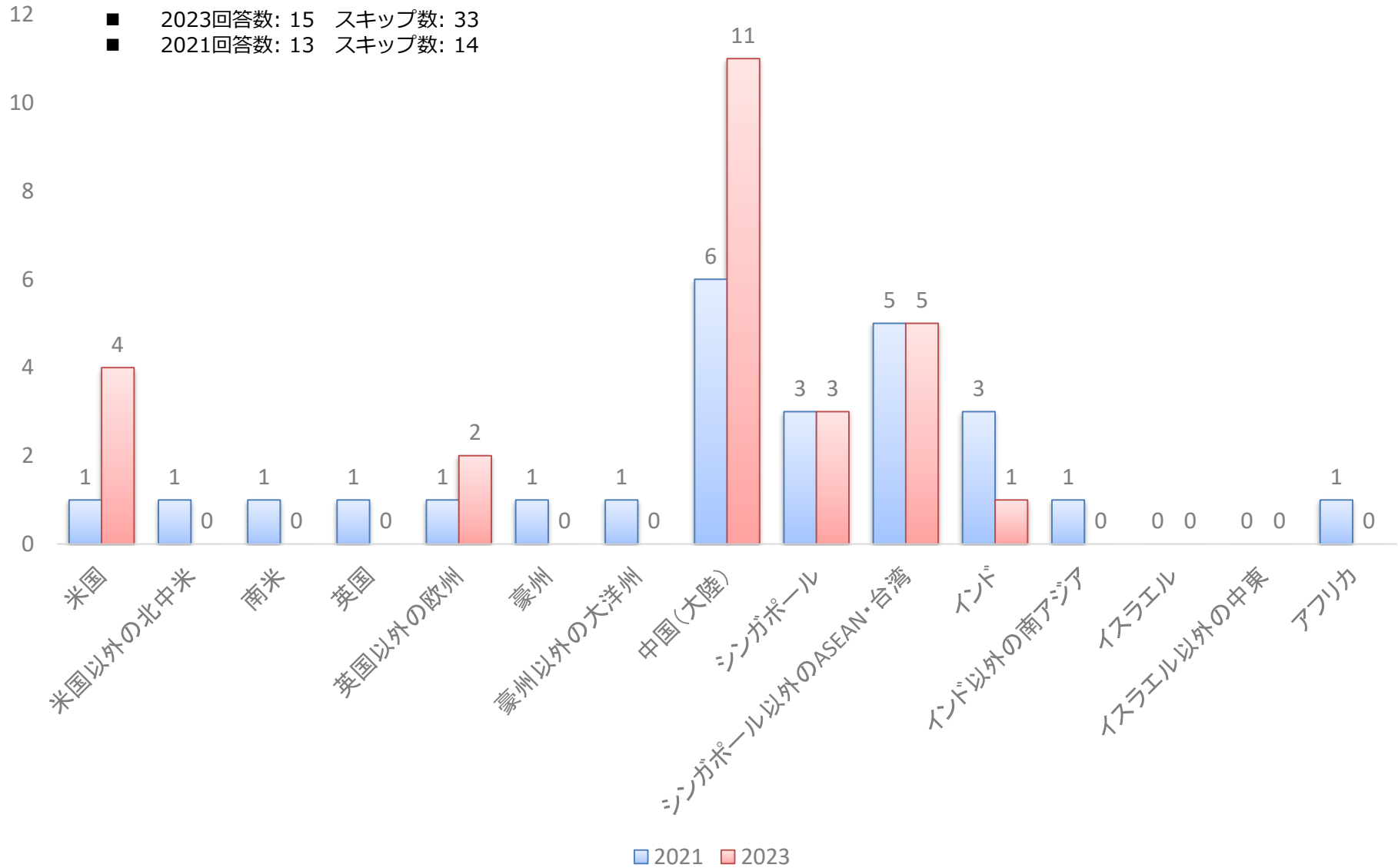
設問15 「オフショア開発」等日本向け調達について、特に東南アジア・南アジア諸国とプロジェクトを進めるにあたり、仕様書や打合せ等に用いる共通言語は何を中心に行っているか、以下より近いものにチェックをつけてください。

プロジェクトの共通言語

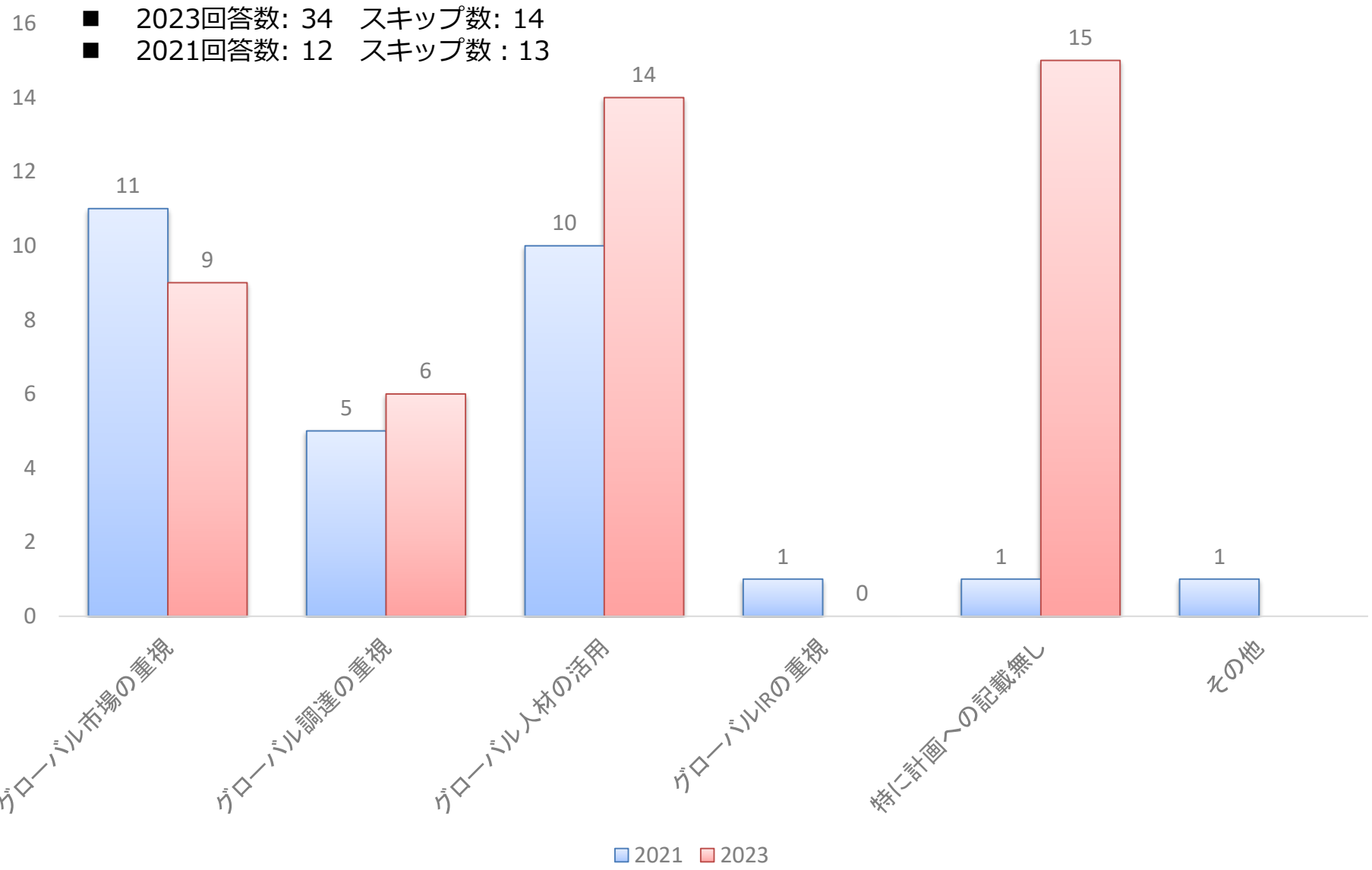
- (1) 「日本語中心」の回答数: 15 スキップ数: 32
- (2) 「英語中心」の回答数: 14 スキップ数: 33
- (3) 「現地語中心」の回答数: 12件中12件とも「現地語は中心にしていない」



設問16 現在、貴社のグローバルビジネスのうち、「オフショア開発」「運用／BPO／コールセンター」をするに際し、日本向け調達のための現地法人（出資を含む）を所有している地域についてチェックをつけてください。



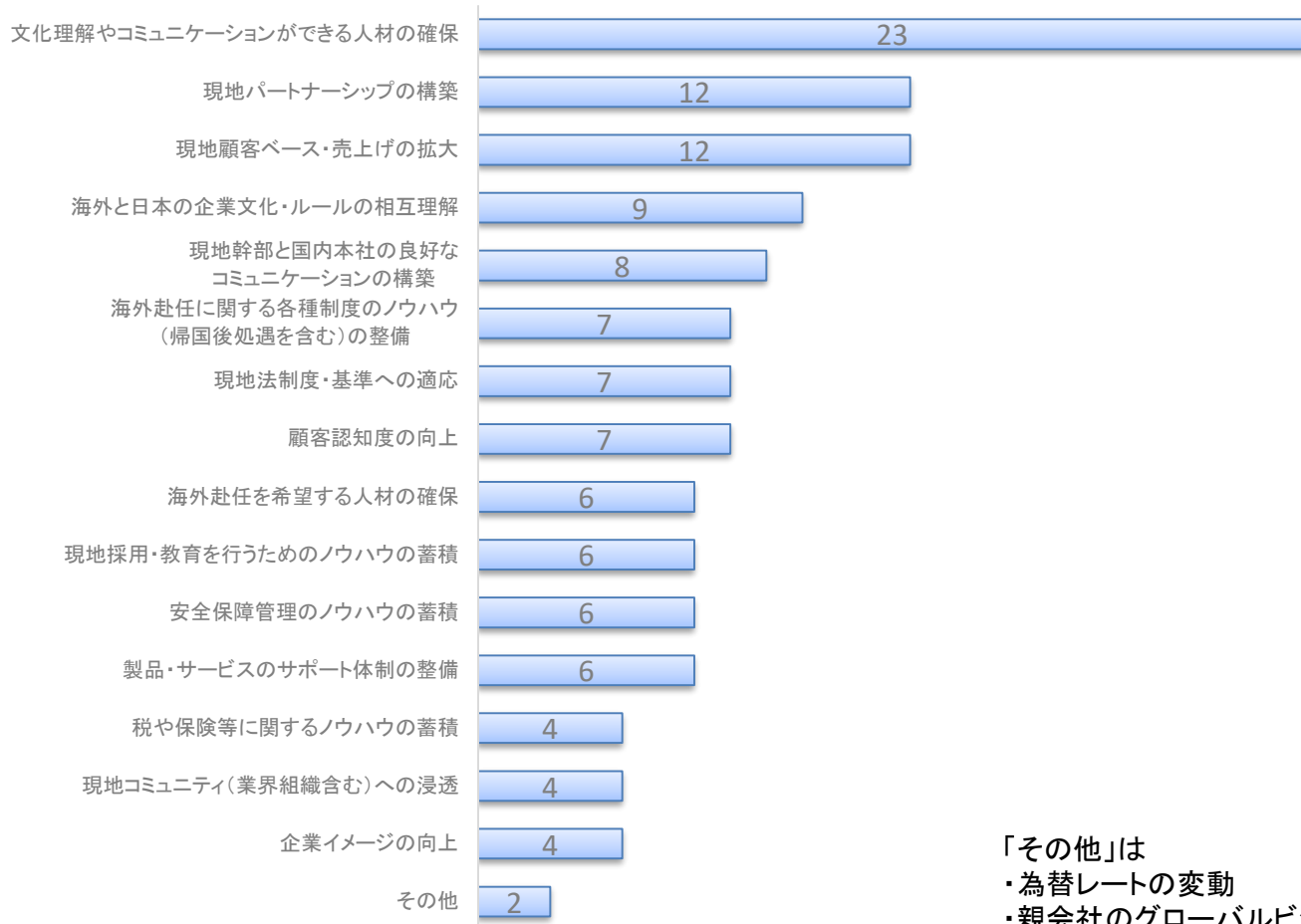
設問17 現在、貴社の中長期経営計画（グローバル戦略）におけるグローバルビジネスの位置付けに近いものにチェックをつけてください。（複数回答）



設問18 貴社がグローバルビジネスを推進するに際して、課題となっている事柄はどれですか。

■ 回答数: 32 スキップ数: 16

グローバルビジネスを進める上での課題(複数回答)



「その他」は
 ・為替レートの変動
 ・親会社のグローバルビジネスに協力

パート3 経済安全保障への対応について

設問19 経済安全保障への対応についてどのように考えていますか。

■ 回答数: 38 スキップ数: 10

経済安保への対応状況(複数回答)

